

春

佐世保周辺の小高い丘のツツジの原からトコイ島の紫の花を咲かせる希少な蔓植物に至るまで、九十九島のあちこちで木々が芽吹き、花が咲き始めると、暖かい春風が新しい命の約束をもたらします。人々は漁と観光の繁忙期に向けて準備を始めます。時々雪さえ降る寒い冬の日々した後、九十九島は暖帯性の気候に包まれ活気づきます。

- 展示写真の詳しい情報を見るには QR コードを使ってください。無料 WiFi が利用できます。

<写真>

トビカズラ

高島（九十九島で 2 番目に大きな島）すぐ北東にあるトコイ島で 2000 年に初めて発見されたこの希少な顕花植物は、日本ではここ別の一か所で見つかっていません。4 月中旬から 5 月初旬にかけて、紫色の花を咲かせます。

ヒジキの乾燥

春は、日本料理でよく使われるホンダワラ科の海藻の一種であるヒジキの採集と加工のシーズンです。九十九島全域に広く生育しているヒジキは、高島や他の地域で乾燥させているのが見られます。乾燥するにつれ、ゆっくりと茶色から黒色に変わります。

長串山公園

佐世保市の北西にあるこの公園の展望台からは、北九十九島の絶景を望めます。春になると、展望台下の斜面全体におよそ 10 万株のツツジが花を咲かせます。

御神幸祭り

春の伝統行事であるこの神道の祭りでは、海上安全、豊漁、家内円満の祈禱が捧げられます。この祭りは佐世保市の小佐々町地区で開催されます。